

令和6年能登半島地震による文化財被害への対応について

資料No.4

国宝・重要文化財

瑞龍寺



漆喰壁割れ、落下等の被害



法堂ほか6棟の漆喰壁の割れ、剥落を修理するための設計が完了し、業者選定後、修理に取り掛かっている（令和7年度完工予定）。

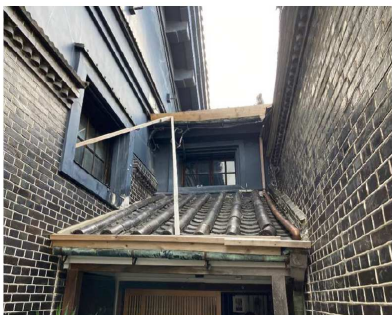
勝興寺



内陣金箔漆塗柱の亀裂、漆喰壁割れ等の被害

本堂内陣柱の修理及び本堂ほか2棟の漆喰壁の割れ、剥落を修理するための設計が完了し、業者選定後、修理に取り掛かっている（令和7年度完工予定）。

菅野家住宅



瓦のズレ、破損等の被害



修理完了後



瓦積み・締め直し、破損瓦の取替等を実施した（令和6年11月）。

令和6年能登半島地震による文化財被害への対応について

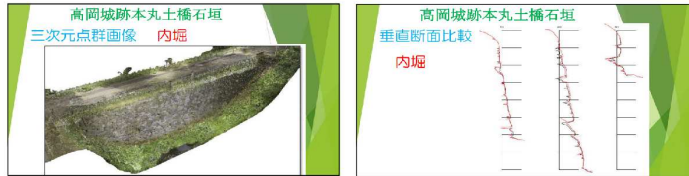
資料No.4

国指定史跡

高岡城跡



本丸土橋の地割れ、石垣の歪み等の被害

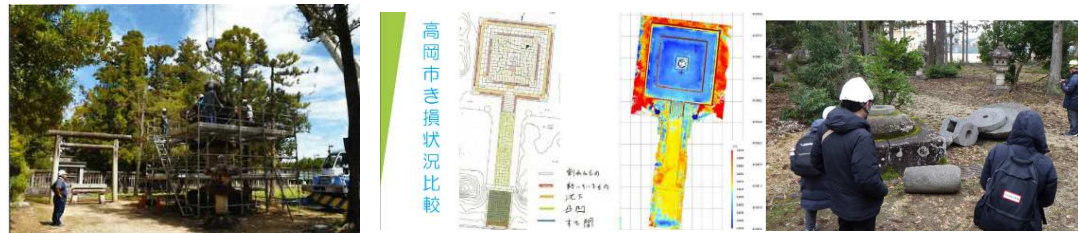


本丸土橋の3Dレーザー測量調査等を実施。地震後大きな変動がないことからアスファルトを再舗装し、経過観察を行う。

前田利長墓所

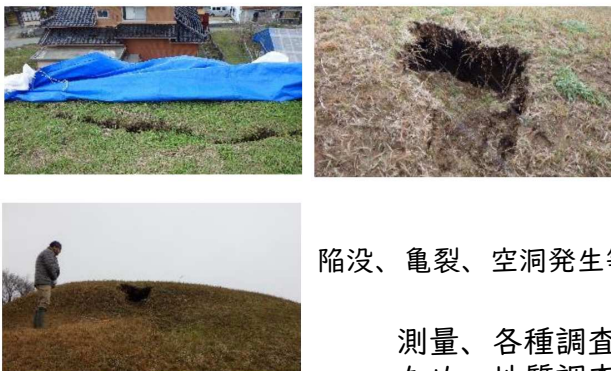


御廟の歪み・ズレ、石燈籠の倒壊等の被害

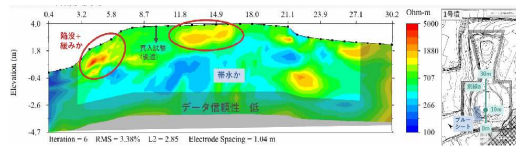


大石燈籠解体調査、3Dレーザー測量調査等を実施。今後の復旧方法を検討するため、地質調査や灯籠の倒壊シミュレーションを実施する。

桜谷古墳



陥没、亀裂、空洞発生等の被害



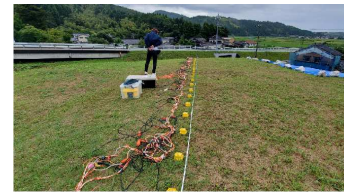
電気調査により内部帯水の指摘



地中レーダー探査により地盤の歪みの指摘



地盤工学会による調査



電気調査の実施



試掘調査及び測量

測量、各種調査を実施。1号墳は遺構面を保護する盛土をし、復旧工事を実施する。2号墳は今後の復旧方法を検討するため、地質調査やレーダー探査等により空洞の原因を確認する。

令和6年能登半島地震による文化財被害への対応について

資料No.4

重要伝統的建造物群保存地区

山町筋



牧野家土蔵



土壁の修理中（令和7年度完工予定）



金屋町



最勝寺 経蔵

※令和5年12月末修理事業完了直後に被災する。



漆喰壁のヒビ、剥落を修理（令和7年2月末完工予定）



吉久



浅野家土蔵



土壁を修理中（令和8年度完工予定）



折田家土蔵

土壁を修理中（令和7年度完工予定）

